

まちづくり達成状況報告書（事務事業点検シート）

課等名：保健推進課 シートNo：22 作成日：2024/2/29

① 総合計画上の位置付けと事務事業説明

後期 基本 計画	施策の大綱	Ⅱ 保健・医療・福祉の充実	背景・課題 現在は核家族化が進み、実家が遠方であったり親が就労しているなどの理由で、妊娠や出産に際して支援不足の妊産婦が増加傾向にあります。 また、メンタル面に不調を抱える人も多く、不安を抱いたまま妊娠期を過ごし出産を迎えてしまうと、産後の体調や育児にも影響する恐れがあります。	目的・意図 妊産婦の不安の軽減のため、伴走型相談支援を通じて、妊娠期から出産に向けての流れや準備などについて理解を深められるよう、寄り添った支援を行います。 また、産前産後のサービスの充実を図り、利用促進に向けた周知を図ります。
	施策の目標	2市民が相互に支え合う福祉を進める		
	施策	2少子化対策・子育て支援		
	施策内容	妊娠・出産支援の充実		
	その他、根拠法令及び分野別計画	母子保健法、児童福祉法 常総市子ども子育て支援事業計画、健康プランじょうそう		
	事務事業名	妊産婦健診事業		

② インプット（投入）

主な 予算 科目	会計名	
	一般会計	
	款	衛生費
	項	保健衛生費
	目	母子保健事業費
事業	妊婦・乳幼児等事業費 こんにちは赤ちゃん事業費	

③ 主なアクティビティ（活動）とアウトプット（結果）

アクティビティ（活動）				アウトプット（結果）	
活動名	対象者	活動指標（回数・件数・日数等）		活動指標（参加者数・面積等）	
		R5年度実績値	R5年度目標値	R5年度実績値	R5年度目標値
プレパパ・ママ教室	妊婦とその家族	8回	8回	延べ59人 （参加者数）	延べ60人 （参加者数）
多言語による情報発信（母子モ）	妊婦・産婦	12回	5回	765人（実人数）	590人（実人数）
妊婦健診	妊婦	14回	14回	延べ3,523人 （受診者数）	延べ4,060人 （受診者数）
産婦健診	産婦	2回	2回	延べ538人 （受診者数）	延べ600人 （受診者数）
医療機関との連携	要支援妊産婦	60件	50件	66人（要支援者数）	50人（要支援者数）
伴走型相談支援（初回面談）	妊婦	318回	290回	318人（実施者数）	290人（実施者数）

④ 初期・中間アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R5年度目標値
こんにちは赤ちゃん事業（訪問件数）	292件	300件

⑤ 最終アウトカム（成果）

指標名	成果指標	
	R5年度実績値	R9年度目標値
「産後1か月に十分なケアを受けられた」割合	94.6%	98.0%
産後ケア利用希望者のうち利用につながった割合	100%	100%

⑥ 点検

改善の余地							今後の方向性	
□	コスト	■	活動	□	成果	□	その他	安心して妊娠・出産を迎えられる環境づくりのために、引き続き伴走型相談支援を行います。 妊娠期は妊婦健診の助成が14回から16回へ増加、多胎妊婦へはさらに5回助成をします。低所得妊婦へは初回産科受診料の助成をします。また、休日にプレパパママ教室を開催し妊娠期の不安軽減に努めます。 出産後は、赤ちゃん訪問で育児不安の軽減に努めています。産後ケアについては、利用できる期間の拡大及び利用料の自己負担額の軽減など充実したサービスに努めます。 必要な支援を必要な時に受けられるよう、周知徹底を行うほか、合わせて外国籍住民への多言語による周知も行っています。
業務の振り返り								
令和5年度から伴走型相談支援がスタートし、妊娠届出後の面談をすべての妊婦に対して実施するようになったことで、それぞれの課題が早期に分かるようになり、解決のための提案をすることができました。また、妊娠期のうちから出産・育児についてイメージしてもらい、産後ケアなどのサービスを必要な時に利用できるよう周知することができました。								